



## 株式会社オーディフホールディングスグループの SDGs の取り組み

### ●SDGs とは

SDGs は 2015 年に国連が新たに設定した 2030 年に向けた「持続可能な開発目標」です。国際社会の共通課題に対する 17 の目標とそれに対応する 169 のターゲットから構成されています。

世界規模での気候変動への配慮、貧困や飢餓の根絶、格差是正など、地球上の誰一人として取り残さないことを誓い、あらゆるステークホルダーの参画が期待されます。



### ●SDGs 宣言

株式会社オーディフホールディングスグループは、国連の提唱する【SDGs】持続可能な開発目標の趣旨を理解し重要な経営課題と位置づけ、オーディフホールディングスグループ SDGs 宣言を策定いたしました。学校給食法の 7 つの目標と SDGs の開発目標を結び付けグループ全体一丸となって活動を継続してまいります。

## 【学校給食法 7つの目標】

1. 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
2. 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
3. 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
4. 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであるということについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
5. 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
6. 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
7. 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

## ●株式会社オーティフホールディングスグループのメインターゲット

### 「食を通して」社会に貢献する

沖縄県では、美味しい食事のことを「ぬちぐすい」と言います。

【ぬち=命 ぐすい=薬】私たちは、学校給食を通して子供たちへ

「ぬちぐすい」を提供し沖縄県の長寿県復活をメインターゲットに取り組んで参ります。

## ●具体的な取り組み内容

### 3 すべての人に 健康と福祉を



3.4 2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。

### 4 質の高い教育を みんなに



4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女平等、平和及び非暴力の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を取得できるようにする。

## 【主な取り組み内容】



「こども園での栄養バランスについての授業」

- 幼少期から青年期への食育が最も大切な事と考え、こども園園児・小学校児童・中学校生徒・高等学校生徒に対して栄養素について肥満や生活習慣病にならないような食事習慣の教育を実施しております。



「小学校での学校給食のお仕事について授業」

- 小学校にて学校給食センターでのお仕事について出張授業を開いております。



「高等学校での豚の丸焼きの解体風景」

- 地元沖縄県の郷土料理について献立や調理実習・講話を通して伝える取り組みをしております。

## 4 質の高い教育を みんなに



4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

## 5 ジェンダー平等を 実現しよう



5.4 公共サービス、インフラ及び社会保障政策の提供、並びに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働の認識・評価する。

## 8 働きがいも 経済成長も



8.5 2030年までに、若者や障がい者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

## 10 人や国の不平等 をなくそう



10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

## 【主な取り組み内容】



- 給食事業における女性・高齢者の雇用と働き甲斐のある職場の提供に努めております。
- 男女ともに育児休業の取得を奨励しております。適正人員を確保することで育児休業を取得（申請者 100% 取得実績）しやすい職場環境の整備（産前産後休業・育児休業の取得の男女比率は女性が 54%、男性が 46%（2021 年 11 月時点））、育児休業後の復職支援（時短業務や補助業務に配置するなど）に努めております。
- 調理師試験の社内勉強会や中型車両免許の取得費用を補助することで、従業員の専門スキル向上に努めております（過去 6 年間で 112 名の調理師免許取得者を輩出しております）。また、ボイラー免許や第一種衛生管理者の資格取得者には資格手当を支給しております。
- 永年勤続者の表彰や出産祝い金などを支給し、生活面のサポートに取り組んでおります。また人事考課制度に沿って従業員の公平な評価をしております。
- 産業医との健康面談及びカウンセリングの機会を個人情報保護法に基づいた体制で月に一度を実施しており、従業員の健康状態について相談しやすい環境づくりに努めております。

## 1 貧困をなくそう



1.2 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、全ての年齢の男性、女性、子供の割合を減半させる。

## 2 飢餓をゼロに



2.1 2030年までに、飢餓を撲滅し、全ての人々、特に貧困層及び幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られるようにする。

## 12 つくる責任 つかう責任



12.3 2030年までに小売り・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の破棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。

### 【主な取り組み内容】



●ファイトケミカルを多く含む栄養豊富な人参や玉ねぎの皮などを加工し、こども園のおやつ等で提供することで、フードロスにも積極的に取り組んでおります。



求人相談・面接会の申し込みは電話098(962)9202。

### 市内の子どもへ ジューシー千食

浦添オーデイフ寄贈

【浦添】学校給食などを提供しているオーデイフ(市内間、村野勝子社長)は10日、市内の子ども食堂19団体などにジューシー千食分を贈った。村野社長は「社員が浦添市に協力したい」と取り組んだ。おなかもちも満たされて、

幸せな気持ちになってほしい」と話した。各団体を代表して受け取った内間公民館を拠点に活動する「イマココ」の朝永桂子さんと眞屋美名子さんは「すてきな贈り物を頂いた。子どもはジューシーが大好き。喜んでもらえる」と話し、礼を述べた。



内なる興備会館  
浦市おもろまち

- こども達への無償食事提供(年間1,000食以上)と備蓄食の無償提供(年間2,000食以上)

宮古毎日新聞

## 子の育成活動に協力

市教委へ  
オーデイフが寄付金贈呈

学校給食共同調理場の平良調理場調理業務の受託業者のオーデイフ(本社浦添市村野勝子社長)は16日、市役所を訪れ、市教育委員



会(大城裕子教育長)へ金を贈呈した。村野社長が育て支援の協力として寄付金を贈られ、大城教育長が受け取り感謝した。村野社長と與那嶺保常務が来島し、コロナ禍での学校給食現場での対応や今後の取り組みなどについて歓談した。

村野社長は「宮古島市は子供たちの教育や伝統芸能の継承などに力を入れていると聞いている。子どもたちの育成活動に協力できたことをうれしく思う」と話した。

大城教育長は「子どもたちが宮古の文化や歴史を認識することで、島外での活動など力を発揮する支えになれば。また、給食調理場の設備の充実などに有効活用したい」と寄付金贈呈に感謝した。

村野社長(右から2人目)から大城教育長(中央)に寄付金が贈られた=16日、市役所

- 自治体及び団体に対して「こども育成支援金」を継続的に寄付しております。